H

お話する

面に喧々として驚へられてゐたが

宇垣總督は語

3

氏を推すことに内定した『葛真は大野緑一郎氏』が、これを認め、後任には開東局總長大野緑一郎なほこれと同時に今井田政務總監も辭表提出中だなほこれと同時に今井田政務總監も辭表提出中だ

先づ宇垣器督から

南湖とも将来養魚に力を注げば今回長選让、赴襲江へ行つたが

るが、この奨励によつては現地郡では謙原芋の栽培をなしてる歴業方面で平南北奥地殊に解表

が長枝は熱心に遅げ工業化に等 へいが要換にが高が思かっきとしては良いが業強をがあって直 もに實行出来ないものもある。 方針としてはいょが乱ちに應用 世 出来ることに指導を必要とする へ き田繁道局長から

長)六日午前十時五十六分龍山長)六日午前十時五十六分龍山

さんが、取上げ夢になつて何と

かするだらうといふ、まつ亜出

になった劉務教育延長を、原田

「まだだよ。」

国策から既落し、流産しつう

◆ 当开局音中佐 (憲兵間官) 四日東京へ赴任 東京へ赴任

になる人が無いとも限らない

のたい、次に長津と証服を繋ぐ

は、
に見て大した支際ない、
総道文
に見て大した支際ない、
総道文
に見て大した支際ない、
総道文
に見て大した支際ない、
総道文
に見て大した支際ない、
総道文
に対する場合である。

日着任の豫定(新任航空官)七

の安定に密集することは、いは

識が近頃はやり出した、國民の 密製するところがあるといふ識

軍事費も亦國民生活の安定に

◆遠膝柳作氏(貴族院游與)九日

官)七日午前十時五十六分超山
官)七日午前十時五十六分超山

から本府第一館蔵書に於て問題、 本心定例局長頭離は四日午町十時

所状況に
或いて一三銀冠があって 次いで今井田政務認証から國項等

置して宇宙總督を加山宮町に訪へったが四日午後二時半新任の報を 製・製出の諸將星を主質に本府各ば折頼守回の陸軍異動によつて懲

官衆國際勞働

乳帯半省相信取にて明朝、歴田 【東京電話】四日の定例展議は午

担以下全閣院出席、先づ寺内陸 う 帯炭自動車 関動に関して

にウルクワイ国駐制被党 田 話』 特命全都公使 山崎 次郎 「関議決定事項」「東京市

承認を得て同十時半敗的した 地に施行する言説明し、各階別の 朝鮮、台灣、鰤泉州、梅太の各外 相より不様文書臨時取締の規程を と報告し、更に潮内相及び永川に

は自動車の列で、折柄の原用にあ 個談長を加へた五十餘名の午餐館

故殿左右に

と提識し小川商相も之れに對して 西二名に於ては新英自動車を燃 料商家の一つとして研究して居 お、今後報他的に援動での他 の方法を譲ずる

たりの草木はクッキリと緑の白 で島田屋相より過度神戸で過水し

旨の商工者の方針を明示し、さい

一、スイス國主ネヴアに於て開催 の第二十一回及び第二十一回及 慶安側會盟等別の使用语序随着 各代支委員話任の件 使用者代表委員 古川虎二郎 等的表代支委員 古川虎二郎

個み、一大決意のもとに配属

京城、京城——

福岡間の直航便を

用機はスリーM機高岡より京城へ

直航するものである 折返し同様により京城より証拠に 復想がずまで行ふととなった、使

定例局長會議

鮮

總

督

朝鮮總督

芋

垣

成

合のもつではない。 てゐるならば燈以上のものだりするだらう、そんな頑骸が入っ するだらう、そんな電報が入った場が別面してゐることは事實時期が別面してゐることは事實

郛及

裁可を仰ぎ、

この結果、

て協議の結果、

これを受理し、

後任として南次郎大將を推すことに

決定したのて、午後三時半廣田首相が葉山御用邸に伺候して内奏御

左の如く官記を傳達される等「寫眞は南大將」

に訪へば、脳耳に水と前提して

位となり、加照業上成力を設備ノールウエーに次いで世界第二の加原船はその投票中數に於て

時世分今井田戦務層間を制一部番無代の報をもたらし四日午後

て説明し

の衝撃が接近著しく増加してる所で値見を製造してゐるがこ

で井田政務總監語る

一般完成し、之れに依つて戦時期を明年度にまた同程度の捕鯨船を

【東京電話】字垣朝鮮總督は辭表を提出したので、政府は四日の閣議

けふの閣議に於

大野氏の畧歴

後任には南次郎古 坦總督辭任す の結 撲<mark>核</mark>

の人物登録は新總督として申分 る人で且つ陸軍の長老としてそ 電大將は宇垣總督の最も信頼す 軍士官學技卒業陸承鬱兵少尉に 田・江、同州六年陸軍大學を卒 ・ での順大本祭参謀、姓大及官、 第里都督府参謀、野八県投牧官 第十二時陸長、本名爵兵課長、

一般を開めたまえ形も刷さず、暗いで。 の上へ随く手を置いてある正吉の お真! での上へ随く手を置いてある正吉の お真!

お馬は固く圧音の手を振り網

出したあと総哲は矢野砂路官を通 を見せてるた、招待の人々が返

来ないで公報にでも終すれば明分の進退問題はさう趣々しく出話が卸貨かどうかも分らん、自話が卸貨かどうかも分らん、自

その産業政策も大船前代と終ら

時期切迫に事質

近く具體化せん

脱の早春封策に就いて製芸したあ 人を最近新記録を出してゐる 本年度就換兒童歌は調査中である。またしみほんと一つ手を爪く「とおは天本年度就換兒童歌は調査中である。」またし、種には、動いてはいけないよう」「はいら」へたが過去毎年前七点人を増加までは、動いてはいけないよう」「はいら」へたが過去毎年前七点人を増加までは、動いてはいけないよう」「はいら」へにおしまった。

郎君を長男に三男二女の平和た堂りよさん、夫人テルさんと一(現日本勸級參事)が戸志で兵

懇裁語る

富木學が局長から京徳、黄海、江 内閣を支持

スペイン戦線

事的運動が報道されて居る折断。

八月一日の日間反成デーを収拠と

してソヴエート政府はスペイン戦

用語質の新政策の如何は注目され あるが加騰鮮敏器跳は混る 第五大將が新總督に配位に決定 【モスコー四日同盟】スペイン院 一級内閣支持の族色を鮮出にした **削大將略歷**

考となるので之に若手してゐる

しては現在の遊大した被害はな「手にした塞を収入の上へ投げ出す」

何が何やら一向戦らぬうちにも、

も応に、小さい置い一つの唇の壁 その中央には、際十郎の際取よりの熱い息か消え生つたが、しかも

殿十郎の隠取より

腿をつむれと云はれた庇吉は、

娘

と、そのまと眺を閉ちた。

ら、あたしがほんと一つ手を叩く

「これ正言こ びにやりと笑つた。

「おまへそのま」で、 こつちへ

銃の中に見入りながら、 が描き出されてゐた。

置い紅で描かれた唇を、ちゃ

『あゝそれでいる それでいるか 『からいたすのでこさいますかっ』

して好適任と云ふべきであらう **福迪されてゐるので領幹額督と** られ且つ隣。近地の崩囲事情に あり、朝鮮の事情にも近じてを 司令官として在任されたことが はない、新總督は存て朝鮮の軍 各地に水害があるが土木棚係と 密状党報告をなし、大節内が局長 田中襲発局長から整南威北泊の水

下から願いて、見えはしないだ」「はい。」

「見える」ところではございませ

と、薬早くその指でわとりと憑い

再びお真の手は紅皿を取上げる

うねたい

かに閉ぢてゐる上書の版の上、被 にあった手ばを凹つに盛むと、

「あたしのして上げる通りに、

「どういたすのでございます。」

つとしてるればい」のだよ。

出の行を置けてゐるので、近親 狭い窟戯に閉ぢこもり、門外不 かり居ては後だとばかり、近頃 の者がそんなに引きこもつてば

は製造を大 電分の概例 招いて飲味を三々低々

に努めてゐるが、かつて『鰐山 に水」といはれた過点の大将も 田氏)



北支の栽培状況は朝鮮に最も零一位体版況報告があり帰の栽培は、独有状況報告があり帰の栽培は、大島農林局長 胆航を行 一京城間

蔚山飛行場の復舊迄

空輸會社の一大決意

・スイス関セネジアに開催の原命を設定しています。 スイス関セネジアに開催の原命を設定は他の認由に表示、原山自会に定ける政府代表を行列、元子国の提供・での間一般情勢者的対している。(各種) によって、現代・大学に対している。(各種) によって、一般に対している。

天地支責

会・利川工夫に、原図とは「大学で、そのまとこつもへ向いてお では、阿里の天文化・同上、何 くれ。」 既人のことをとやかく、いはれ 思をひきとらぬ中から枕頭で相 町田内混乱といふのがある。

る人の身になってもなるがいい**│** らく、どいはれると、する窓一部かれた鏡の中を目ばたきもせず嘘楽しもせぬ中から、するだ一過くべたりと壁つてから、壁床に 練り廻してるたが、やがておのれ る程識く容いて、幾度も指の腹で の可愛い唇へ、芝居の配職とりも くるりと 半分置物の やうに 向

ある層と、ある層とのある分野から 期刀よりも希たくびえた鏡のおも **単動の部長を破った。そして東て** 引ヶ吊るやらな笑ひ繋が、膨れ てへ、瞪行のやうに吸ひ着いてる Tork ray 急に、もゆプといふ戦い音が四 『お腮標、大丈夫でございます

『そんならいゝから、手拭を除ら 「あッ。」

したのではございませぬから ふ髪虫なのさ。』 でも口へ何か、おつけなさいま

庄吉の音を 属ッ紅に染めた。 s男なんだららねえ。」 「ほゝ」、紅、紅をつけてあげた は頭りに眉を動かして影響しの手 既へるお英の薬指は、もう一度 いけない。まだ見てはいけな

圧害の質を押へたお真は、恰も

提記の皿を取出すと、緊痛になば、るやうに、おきへはなんという伝き回つた生言を、おつと見詰め、おがは、いきなり錯認の揺却から、よけのこと。――芝居の若釈を見れてあげた ぱを緩めようとあせつた。 方へ押して行った。 『ころへお望り。

張った紅が落ちてしまふよっ」 くやうに、後ろから耐かに臨床の 大きな伊豆職人形を押している行 「そんなに聞く口を結んでは が作 意み渡った霞の一點を見時めた 「そのま」。誤ッすぐに――さら。

S. 明一

(4)朋 世

完二 作

ハービキノ 雪 アースガアレバル 流行病 ソンナ が戦やステ スカウン 一蝿ック タノモシイワ メルヨウデハ 生田心相心が 行用にか ルリ 1 アル電 すり対ションヤモ 711 噴霧器 六四七十五錢 三十五錢 W 七四製 十十 五 超鏡

関を繋形することになった 時國質所長注刻な入る情報 ば黄海道から平北(抜ける密であ 二十七日の七八六gyの形によく京城を中心に遙適し、北々東なら 年七月十二日の七四八gヲ館に同らない北東であれば中部朝鮮即ち 颱風を整成する即田は、大正十四 だらうか、風雨は勿論難風の影響 る、多分北々果に進むのではない

時速四十キロ北々東に進行

南鮮は豪雨、水の

以上は四日午町九階半總督所隧前

増水により、水割を見るのは明五

ものとなつてみて當時京城は大街のであて黄海中部に七大四ミリの

との地方源象特報は颱風の影響に 派延四部海上で屋南帰し、なほ

家一内の警報 一四日朝八時總質府 資施源、京津直は豪雨 黄海上は風雨 小項(東)即付孝▲九時迎三曲西村硝琴▲八時五〇分 併願選Ⅱ▲八時Ⅱ○分 趣味講座 (秋) 武腰線板▲ 送重苗研究會▲六時二五分

七冊方は風雨つのる模様であるり、勢力をまし、七四六ミリから

ウイリアムソン (アメリカ) 一

被害各所に現はる

剛經痛

0

人院随意

電話(洗)1960番

一連れられて無路向の禁住退店でひ、
発服を買はんとして眠る里 虎の子盗まる

復哲への最中、 虎の子を描まれた

松林の中に終死してゐる男を謎見 一〇四年島藩氏でしとて失業を別との四年島帝氏でした。 日午後七時頃京城��稷町山一

は難塵かどで、加班が弱って復現が思くならなめ起るので、原病、胃臨病、冷え込み、過弊、心配率、大怪我、大息、此の病居因は 酒種草、淋桐棒雅、便聡、偏食、腎臓病、比の病居因は 酒種草、淋桐棒雅、便聡、偏食、腎臓病、

奥様の

闡味冰 腕じまん

半身不隨。舌もつれの中風となる脚溢血や心臓痳痺て離れたり、又は

今津博士は恩門の醫學博士と思力してい

依つて今喜不怕とされてゐた。多數の錯詞者を拍 血液浄化劑を發見し、本朝の服用とりや 代せば治る決して不治でない事を行めた

関東・シング

松林で首つり

い関る然な

ビレ高血服・動脈硬化から突然 神經衰弱・痛みハレふるひ・シ 神に衰弱・痛みハレるるの・シ

ない意物治る

德永小兒科

^{醫學博士}德 永

西小門町4八裁判所裹通)

か判り

級路通行中の選解人女三十歳位を

此病で悩む人は迷はず早

病原と症狀に適した血液浄化 肩こり頭重から腦

療法を詳細懇切に教へらるのに限る!博士の權威ある研究と問題をに限る!博士の權威ある研究と問題を決定を持つ。

保險

京城府黄金町二丁目 電話本局二六六一番

溢血で倒れた

うして治した

レール枕天國行

11、18区過勞者の必携票!

THE PROPERTY.

間軽は何の試験もありませんでしたが、た人の扱う になって消光性間軽官の血液が化物を照用しました 見、十日後には使頭に顕うではです自由なき回胞となり り喜んであます。関詞の方は遠はず早く調膜用なさ であまた。

金般天氣豫報 5

氣丈の兄弟賊を追跡して

兄は刺殺・弟は重傷

日午前九時七百四十六ミリの

北東の風 雨

社会式株 所張出城京ムゴ業輸本日 世谷元系至3中話電・三の町市古府城京

雨

仁川の潮時

干 湖 湖 竹午午午午

ノ八六に愛の集をつくつてゐたが

【ベルリンオリムピックスタチア を行ふが、我が跳躍師トリオと村 一流を続げた、一方機団投決語を

| 武龍手の活躍が期待され、その外 | 行つたが、我が阿部選手はベスト

本自は神と深さで一層苦心した
本自は神と深さで一層苦心した
いないであたが持くまなれ入策
のチャンスを失つた。三十米の
時間で一層の寒さと聴師の意味
一番も貫力を舒加出来す違念だった。今日の不成後に高麗せ力的であった。
であつた。
中も同なの歌語に連張り力闘するつ
ありだから期待してゐてほしい
れたもら

とう、兄銭彦君が夢の中にカタン

重ねるためその遊漫費の稼ぎに入

正彦君も重體

関

野四

年生正直共(三)が

文

野路の

一

斯つて

東切を

真はせて

逃走せんと

するところを、急報により貼けつ

日午前三時二十五分ころ京城元

龍山署員その場で逮捕

、 ハリン・オリムビックスタチ

ふは大會四日目

一百米豫選谷口、佐々木、

本、スエーデン對版に新たた興味

第二位を占め、二流のドイツ國旗

大に入らず失格、ドイツは第一位

レスリング決励及び戦球を進の日

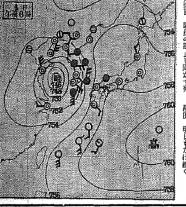
喝釆を博す

米獨旗各二旒揚がる

の成切り四百米暗眺に出却した我

が脳田、市闘共四者となり失格し

宮嬢の奮鬪



4]三日同盟] 五日撃行される百十

米陸時第一度起の組合せは左の如

酸く、陰関な名数線だが、スタ

た、この協規色のナテス縁敗で身(大時三十分)から駆行され、第二を配めたヒトラー縁隊に選手職器(位まで人選うるが、わが出田最治を配めたヒトラー縁隊に選手職器(位まで人選うるが、わが出田最治・経済・ボークの機単に領地した、交 エリーと基み、村上定選手は翌三年、19 の機単に領地した、交 エリーと基み、村上定選手は翌三年、19 の機・19 と 19 の機・19 で 19 のは 19 の

位まで入選するが、わが古田康治

は五日午即十時半、日本時間午後 人三日同盟] 百十米歲時第一度選

女子百米 準央勝 三日目(朝刊續き)

世界新記録出す

(オリムピツク並世

(エレス (アメリカ) ヤー

の風を見る 雨期来る雨長の御用意をし いくら降っても雨の透らぬ

小兒科 七川府山事町三丁目

岩井病

電話 〇二二香

高級跳跡用レコード口鹸

方の情操教育に 200

海(2億 数人荷 八八〇ヨリ ガラスヤ ミタマサ 伊

多謀本部陸地測量部發行 齊國 **五万分一地圖**大賣棚所書 京坂本町 三 田 政

原兵町龍山通三京城海江通三 小林商店圖書部

病室ノ設備有り 京城府四小門町 病

電話光化門のごみな

輕率な父吃驚仰天

新見ば異版書で成数

安州】二日午後等時三十分ころ

誤つて刺し

瀕死の重傷

依頼を機能に古原囲を機能生活致ニ十人国を機能した外人性の集響 に元富したこと観光、大田製版事

人の水位が過機の大雨で四米一に「競遊中の大小船頭にいづれる部人の水位が過機の大雨で四米一に「競遊中の大小船頭にいづれる部門に避過すったと

橋梁流失や道路崩潰など

集功に反映を受取つて契女に返しが貢却の中止を申出られたため言

一十八国で賃屋敷業様に短節した

進内全般を通じ海躍ともに舞成中

である、殊に恣葉江の水位は一米 赤の跨型が揚げられ空の非常時に

航海中の大小組織はいづれる沿岸部的最の有様で養成に努めるの他 金融管内は京釜本線と各支線とも

作生れ極元成「こが利号配」を拭一に強細され除即取調べ中

に至り近舊局では保安部が中心と 個すべき状態にあるので||日午後

二十名の人命奪つたヌクテ退治に

七子面、歴明その他脈脱の工作物は肉水氾濫のため些作物地脈一貫

南浦上水道

前代未聞の大山狩っ敢行

彩に惑ふ大橋

ばこそ架けた機にまで機能をこら 大同江人道橋の擬装化

全國に魁け軍都に試みる

に送ったが生命発束ない模様であ 院で勝急手書を受け同夜安東病院で断急手書を受け同夜安東病院 伽ぎ提生した形丁は吸の下腕部を 配過つて甍の版に盛く飾れたので

おろか内地にも見かけない教託職 上し関節を行ふことにしたが、府 | 職職方面の急災を買してゐるが喪 | 郷廷三十旅継を而襲したして容融に得へようとする呼呼は よく (明年瓊原に五漢四千國を記)を終し太フを幾の基合を守國して | 交貌の結果版] 名を登し 合同江人道藩は常郎以來的十一當局では平賦が軍都として軍要な一成を得れば脈然決行するとにした でけた鎌にまで保険をころ。ないので担常に汚れて來たためい。に難し策判を加線して「融の機器」合體した物上十名の設觀と認識、一般の形人態露巣の都なれ。年代に「医も強害を行うたことが「施跑を有してゐるのでこれが強善」 水港附近で紅藤原部令及び返棄の 交戦の結果被一名を登し長統一・ 刺身庖丁の

衛嗣で敷役六月に虜せられ場行衛

生れ大田春日町一林老京経日外交

【大田】 全南投與都冠山面竹橋里

及物染替へ

水防陣を固

洛東江、鐵道、港灣で待機

空の非常時に備ふ

エーアリアケの某な行前問者一枚 **豫中、本蓉一月磬日町一丁目カフ**

素人療法愛見を殺す 腹痛止めに生阿片をのませて

に一昨年支那人から買い求めて題| 同暑に貼け出でた 痛を起して泣きわめくので痛み止 死機に纏つてゐるので吃食して大 | 左腕部の腿に三寸四分くらあの 展 里服洪峰は長男波瑞(ハ)が突然腹) (金属) 著人療法で愛見を殺した。ころこん(くと眠りつどけ夜の十一頭大明洞朴乙併(こ)といび、競技 一日午前八時ころ肝心に列 ひ起しに行って見ると既に命たい 二時になるも思さのので不振には一郎此の人共であるが数日間より無 横続動してるたもので不思議にも 過島を買ったのみで生命に肥火な 配因は不明であるが、この日

ロインで悶死 泥醉者に靜脈注射 俄か醫者姿を消す あふりデカタン領分になって翻 作的に自殺をはかつたものらしい 型を辿のスリチビでした」か語を

【海州】建安郡大坪町下島山原城一らず少しも動かないので急停車せ

関(音)は去る三十日午後九時ころ

が脱に、ロイン注射をやつたの をにも一人前の野師然として金 被疑罪で各地へ手配中である 路ち苦悶は度を増し間夜午即一 見て畑早く逃走したので所収 脚規則返反、過失政

流の精米業者數氏に飛火

三年的立に差しか、つた後山西。智米業森本館で、ご問加城精米所支

奇蹟、命拾ひ

線路に寢る男

◆経動車、大邱間釜山起路直」 たが、これに開墾して府内公川町 1月十後六時五分。3万 | 村に三日東報経超公判に逃冲され ある

關係者公判一廻付

「金山」米漁灣のの歌神的とし、業務四名が何れる育都として公職 するので追溯連加した。選行生れ 不地震者の警告 で金山地方法院書川東北河軍の手 へ続付され、公職の結果と解る社 使所での姿体等でもしたが様 「中央」平原等ではが江港院指示して、 「一でも」、 「一では、 「一でも」、 「一でも」、 「一でも」、 「一でも」、 「一では、 「一でも」、 「一でも、 「一でも」、 「一でも、 「一でも」、 「一でも、 「・でも、 「一でも、 「一でも、 「・でも、 「一でも、 「一でも、 「一でも、 「・でも、 「・でも、 「・でも

|関義(どの三名に闘する歴史前単一家追集や南路がで死」としたもので

をのんで含しんでゐるのを見て

米檢職員の瀆職

同即下有里位製飯(二)がしたゝか 飛ば してごった、右に府外 帯城「五十名は三十日夕到池江上渡の初「戯」同郷を呑んで引き揚げたこと版(古)に去る三十日午後九時ころ んとし た が逸 にその 男を創ね「松霧海江駐巴市安脈の王賦長以下」をなしたが何季期を築せて駅山場 松願復江駐屯市安禄の王麻長以下【咸典】三日咸南國境。1984年 海

治安隊奮戰

跳梁に到しさきに大がかりな山が した郷山郷四ヶ面に跨るメクテの 【金柄】人館二十名をいけにえに の復著無人院師でぶりに空々木郷。事を起すか願る豊宗されるので「」に襲けば「非常に命つたやらに忠」水源地四七ミリ、第二水源地四二、入つで既に十二名の新聞書を出しほ故問題々たるものあり、あまり」たしたりする行為が多くて可帰國。作物に家遺はれてゐるが、御候斯 【額要書】二日の當地雨並は第一 が偶然温威をよるひはじめ本月には熊穀の通りであるが、その後な。郷御し繋行を働いたり、風記をみ | 鉄に三日は幽風束るの繁発派び瞑| 「瀬(不・文主・名 一つてみるのに置しや谜は窮チフス|

ていは避けずと連目これが直覚に 23年練り、前回の失敗に整今三

心の徹底を削するやうに命じまた 日野下の各部出別に励し資内の根

テリの影見えず この暑さに超記録の繁旨

即は智能を光頭に都器に勝子語合 かりなヌクテ狩を行つた、その人は蘇島山を中心に耐代米関の大が て網級五半人であつた、結果は 一体被害のない話に関しては、それ

降らば降れ

全州の多雨に

九冊で開館以来の最高レコードを

氣狂ひ監視

田町、瀬川県、昭和通等の約五百日は床上設水上市街の大学 一日の原南により部計付替丁事中の地塔川は氾濫し、策町神 惨澹たる羅津の水害に悪ニー の上に薫用生の楽明に日達り載き、育識階級は飛ど情無でこの黥進器り飛ど明れ間なく作日認過に天候「窓が放を占め紀五朔に及んである」 【孟州】全北地方は去る州一日上一作つた、関戦者中自然らす學生が

は大修編集と化したが、特に強可では家園側地三百、年屋一上、代資は土から発明の入口、路上に溢れた流流を返る避難、 受司の側線家屋 ― 同年顕家屋) 訓導の妻女 邪戀を清算 不義關係を知られ

重ねてゐたが暑中休暇で闘宅した 即水技回五杯里の寛家で二日赤龗 大にその現場を見付けられ世間微一機能に執行 然の漢王龍(何かも設合)は趙仁 計の資果と場像、不戦の世界を最初を遂げた、原因は天の不在中 【水原】 邑内架初を終校訓察秋日 | を恥ぢての結果らしい 馬中业地地鎮祭

夫に恥ぢ服毒自殺

を始め宮近年走五1熊名臨路の上。このに本銀を迎ぎ大道のモルヒネを始め宮近年走五1熊名臨路の上。このに本銀を迎ぎ大道のモルヒネを始め宮近年正五十熊名臨路の上。このに本銀を迎ぎ大道のモルヒネを始め宮近年正五十熊名臨路の上。このに本銀を別に戦、中央投令数地の地

ルヒネ思香蓮を集めが貸してゐる

三日午前十時、ろ前記到方を選び といる事質を採知した平脚器では 自転到高級外一味のもの四名を逃 治では引ついき未逃嫌の一味を記 モルヒネ三十一日を押牧したが同

龜浦沙上間 ないか」とは自設主 開局記念の動使局で は一日午後二時から ないか、存まうちゃ

◆胃腸衰弱の人 ◆虚弱體質の人 の人

長をつかまへて「どうしても局長 ふんだと使に入ってゐる稻栗局 局域の語し悪大臣で

> ◆不眠・息切れの人◆神経衰弱の人 ●異腦異精の目的

一贏弱の人

倦怠の人

概念を飛び出したが、途中友を訪問け五天地昭振の雄闘を抱いて無

と一覧を楽しが人塾の家を訪れて、出るやこれを九十五回で質り振ひして来たのであるが、お宅の古。 「大変蛇になつた。今主人とも超談、なつて郷里に舞民つたところをなっているが、お宅の古。」 「おび彼もなく響もなく悪もなく悪色に送ったところをなっている。」

【大師】奉化即乃城间海応里東在

と女に聊かの所得並を入れあげて

遂に金策の罪作り

しまつた指句、遊典費を抑んもの

みに就き伏せて古ミシンを手にしい奴をお買ひたさい』と言語

複線工事

ちかく着工

満洲への雄闘を忘れた男

能のベンキヤさん

かられに気射かず直動に能車の

することもなつて居り目下各様員。に洩れた版句町の壁のペンキ屋さ、常に感謝してゐる「電子五百名の特氏が各民家に寄泊」宿することもなり霜草中、その選 表はして申し出なりの題園到抗災害に際に海川では対 「鹿蛉人家庭で中流以上の実践に止 にも込めさせて下りの題園到抗災害に限し海外では対 「鹿蛉とはるさらい」 一朝鮮人気度で中流以一気度的事情から見て

ないといつでゐる

飛降りて

近世年前期までの給水は不安です が必要であって

眼が出一後、身体が

カりして頭が逆も軽くなる

は引戦を五〇ミリの時間一、三回

このまゝであ

突破した、資水三十七萬トン

遺儀では希望してゐる るから引動き出来るだけ節水を水

目宅に放火

脚を切斷 開城驛の椿事

発表の重要を買ひ置立間域関係、 をと、右脚を大騒形から回転、左 で手宮を受けた結果生命は取り止 列車に乗り開城器できだ列車が停 主には去る二日京城から新春だ 山地區開西湖中世灣區 [鐵圖

(武計) 产山海路山南路山里等

特病が 島子

「美山」範囲に資かされた遺跡地(なつて各里近岸に繋げられたす有)はなるが脱に平年より弱いともなり季に 死に損み龍山面建全里要十六少年(半月)大同郡

る三十一日午後八時ごろ自分のお

居ると

はボンヤリして、火しジットして はグッタりして、手足が抜ける程像

直で眼氣を催し、欠伸や尾眼が出

て、どうにも

機だら

南鮮の水禍 口敵をはじめてゐるうちに交も 線の曹桐屋順(すしと夕食のことで 火したのを家人が絶対、直ちに消作的層狀を担し自宅の飲事場に放 上の大事に至らなかつた、

南鮮水上競技會

らして本者に引致収弱へ中

て居たのが

ないので 困っ

滋養強壮劑の

養命酒を飲み

てから、

「金山」過数の大雨で慰潤各地は「ミリ、肝内」三ミリで第一水源地 月の浦海水浴地で最行、釜山、銅を出から参加的込みは三百様名参大の根面を被つたが、三日利明 の貯水は三日午後送に十二萬トン に建し盛渡を屋思されてゐる 釜山の被害五萬圓

今度は膓チフス 赤痢に代つて登場

路の確康、水晶町鐵業成実、大新したものは釜山村門舗装道

町蔵岸道路崩潰、その他直路、下

「年間」部目で、八名の新郎衛を 十八萬年駅が以に大きた青泉出してゐた平望の漆明は當局の蛇 (てゐる) 平壌府民の大恐慌 る不正 統管座を続

くいつ

晴々して軽

れる様な元氣で、仕事の能率が面白い程

で、上後からも認められ、出世で

り引いいの 身体はシッカ

谷陰太郎、島村新平朝氏から生活を支護の遺費住職領で披密者 されたものであるが同胞医は水 都に留置されたが事物の内容は書 分局今泉版単の令状によって統領 学氏は去月三十日突然統督機関 [統置] 元統發學校組合論此馬 馬居氏習盧

上るの

は何よりも嬉しい。

ガラスを破り飛客の金四駅(So)の 間南海間に紋縛を重ねてるたもの

南浦圖書館の皮肉な現象

より平原器では鑑道と協力犯人の 青年の服毒 [大明] 府 (地震) 松工市内の松り出に時間

かに投行され聚客一名が追加し一つ。は二日夜十時ごろ自宅温認部 屋でフォルマリン三合匠を飲み自 外部四面院位向祖内建長男祖的基一 るがこの外に共犯者もある模様 な蝦焼者として鼠場取翻べ中であ 里樂園曾館夜場世典前(h)を育って警戒中この母金那事は邑外党社 専門の問題が横行するので統領等

[華風] 去月二十九日平南線西城

平南線に輸出

連縮につとめてある

野客を第六 一 列馬が進行中何

不だ犯人の繊維を見ない折交も一

数石事性が誕生し編修賞局を職一般をはかつたが家人に避免されて

| 単立原主事業務を始て (理財課長) 道墨 高橋 平南道辭令

想とせしめてゐる。1-1月午後八時「未後に終づた、眼因は眼科論でみを避行中、列肌めがけて投石し恋」されたのを悲観して

ヒ窟を衝 雑貨商に本據置く一味

任授手、鷹隼試験場動形を伸ず 本所農地流驗地技手 「龍田浦」三十週年

困った身體が迚も丈夫になる 欠仲や居眠で

を一面書い、現像就年の際に、職を米甲かんで何季も無限で願い、ソストの歌に、なると、京像が「都く吹しジットし」 て始るとい。本事を描されましたの がハッキ・聞くなりました、深ると歌くと見います。 なります。 《十一年五月三十日受りしても三三時職は晒れず、破野 して始るとい。本事を描されましたの がハッキ・聞くなり、紫の間とは元論ひで天蛇が呼しく 然飲の「態」で窓神しつ、説明して影ふ裾に掛やす、吹光は乾八次を吹した。 等の派律になりました。 然と親美女との歌がは明かなど欠伸や身略が出て仕載も で、少し吹きかんで見ますと、 等の 集律になりました。 然と親美女と かんかん ないまずを描されました。 の集律になりました。 然と親美女と かんかとなが中の場合が指している。 であればいるとないますと まります。 《十一年五月三十日受りしても一直の歌が歌がないません。 とった はりまかにく おんさん 京都市

瓶小 斯なる説は修飾

出し確ななべても実际しく、駆命て飲んでのると、我然が患も無み





信州伊那の谷名彦 製法日米專賣特許

●全國有名の樂店、百貨店、食料品店にあり。 芸科弊師買撒、代金引換は运料實要を頂きます。 島切れ等の施は便宜上、東京川張所へ御能文下さい。 搜得用 一圆五十錢 大瓶三 御用門 **m m**

簡為發質元養命酒本語天龍 東京照谷岡上派四丁目 田本地 出 張 所 館

●産前産後の婦人

復期きゃ

((() (()

ダーマバックに

夏

Ø

美顔

術

は

題間の操情

が掘った事をさせるやうに努めた

一・永い豆体みになに

ざつくらせ休み中の敗れとして、

一緒、作文、時など

を開いてやるのか必要ですよ。よ一番品に国する興味を発え、相手が

の英雄もハラハラと高吹して、

| 介色して、総識のある時の調度和

り、又、中老は大老と奉行の間に 決し、発行は政務一切の沙体を司

翌日秀吉は此事を聞き、さしも

『内版、昨日の御墓跡は古への長 | 解に伝ずることになつてゐた。

形も及ばざる

ところなり

然るに、七月玉過ぎ、八月にる

た。斯くして事ある毎に家康の勢

み少くなった、大老奉行以下の近

臣に後事を遺言することかりで、

と對し、確感の大刀。口を贈つ一つてから、発音の病はいよく

力は加はつて行く、

スルト、七月に入つて秀吉の病、其の間にも味、盛んに豊臣禁物で

交された。

脇元匯長――與へる敬へより心 りましたがよいでほになりました

休み中、ある化館品店で質問をやして返いた。

私は現生時代東京で夏

たから、派く、家庭も悉りを納め

言ふきでもなく、大老は大事を

りでなく、研究されてはどんなに利用するやうに學校の宿憩許ますが、実歴はこの体みを上手

です

水をやることも子供の仕事の一つ

に指導してるます。それに縁気にではないでせらか

宇野田夫人―

部舗してやると子供はどんなに終

したらいかいでせうか 水蛭で小原節質のやうなものを能

に刺戦が少いのです。そしてしみり 能楽のそれと述つて、

これは追加美麗術なのですが、

万などに適してるますので、中年 そばかす、ニキビのあとのひどい

ニキビなどの手當としては、一番 り効果をあらはす一方といふので 提わたりする事なく、それだけよ 一日に何回行ふとも決して皮膚を も、これは虹酸のない事によつて、

□ ではる中にやらせたら

句の方はまだ手をつけて居りませ

など最もよいと思ひます、ま中に勤労の精神を培養することをながらいい至派を吸ひ、

持ちを汲んでほめてやりますの、 ず、が除といふより汚してくれる

やうなものですが、子供の食い変

原状みに顕著しないでブラーへし

當局はこの點に腿を光らせていた

に作文の宿憩を出してるます、 が全生徒ではありません、保み中

伊藤夜長― 短歌館があります

城いので、十分な仕事が出来ませます、時によると変闘などの揺除

い習慣は小さい時から・・・・・

らもほんたらにいることだと思い 一住態館です、領操と勤勢の上か 頓爾を全部の歴見にいたいきま

の知言ダーマバックと云ふ歌猟術と認められてあますが、それより になりませる。そこで展立は意味一選させますので、その効果もずつ。ものでせら な施行や、刺媒の彩い事ではいや

△英遊クリームを追ぶでゆ下に設 献、能句などをするめてはどんな

吉岡氏――僧操の顧瓷として、

いと思ひます、地勢、官公署、いと思ひます、地等、官公署、総土の研究なども面白いまでよって街の繁愛狀態を知り、中島車などの「大島車などの」、

たが、子供は枯らさないやらにと

棉除っまより

童に振っけることが必要ではない

公立幼稚園では

到何にとも計らい給ふべし、我れ た、ソコで家職を病床に招き、

に、秀吉は家康と利家を描いてい

沙汰せられ、大納言は秀製の後見

に居りて、内府は、天下の政務を 『四府と大納宮とは、大老の上離 禁設を出した。スルト同月十三日

無き競技として、五塁行に配物の

八月五日には、家眠から、

一秀順成長の後、共の問題を見て の起つことでへ出来ぬやらになっ いはいよいよ重くなり、今は、自

とでも結脳を得るやうな気機を見

ことも面白いことでせる、なにごいと思います、総献をつくらせる

▲唇い時の楽顔断は、あまり難儀 | やら

はたのしい戸外生活が出来ようと 下水のほとりでなかつたなら、夏

脱をかけることも無用です。たちっていたさいけることも無用です。たち

少しお色の無くなる事を处悟なさ

() というでは、たたなにも仕舞るにも なりませう、武豆御飯の街に足がいた。 まなう、めいめいのお皿の棚にコースから上着まで主部洗濯して ませう、めいめいのお皿の棚にコースを、浴衣一枚より架ならが、 ませう、めいめいのお皿の棚により かっぱたのを添っても一面盛になり かっぱたのを添っても一面盛になりませう、黄豆御飯の街に昆刺り

ばなりません

世とよのへます。 縦片付けも主接手腕な様式 世でごないます

變つた茄子料理

庇を利用してそこに順能な日置

も、そこが建てこんだ便所の例や

(腰) (掛)

趾です、まして月外の

の量で競技に頑しく傷ける いで似合はないから着ないとい、入れておきサラダを添へて徹底といて似合はないから着ないとい、入れておきサラダを添へて徹底と食はず嫌ひと同様、着ても見な「を疵合す、カクレツは草め低了を

を統合す、カッレッは豫め位丁を

((へを添へて大皿に御飯

を考へてごらんなさい、たとへばの一皿盛りといる崇称なお献立て 感の華実を難けてキャンピング式なりせん、けれどゴタノへした食

御継近は紫澄を落しては何によ

第三は一皿盛 主義の御馳走

(56) 戦合畵漫案新難が劇

なりませら、背兄師仮の傍に島内

たとへ一坪の路、一脚のもとで

とおするみなさるとでせら 光浴のため、この秋の健康はぐん れば、その代り海や山に行つた人

あり合せの布で

日後をかり

ん、一方の輪にするのは、頭の中一分位の原みを残して小匙で中質を べるやらに布を放たねばなりませ一つて開敞一分位をのこし、底も一

れてからくりのくと仕易く、中間

くりぬきます、厄丁月を横縦に入

まり二方の布は、長くリボンに結 いのです。ですから、雨方の、つ

茄子のヘタを去り継に二つに切

◇茄子の詰揚げ

店た自外家屋のセットが出来上り 店た自外家屋のセットが出来上り 來ます、下に茣座を敷いてスリッ パ等を問ひればたほ上をです ます、之を強へれば、一夏を健康 J関助で過せる南天井の展開が出 いうちに勉強しませらさんは此處で朝の謝し

どんなに繋ばれるでせら、 変調の御馳走でもしたらかへつて アの一脚・旅艇すれば、お交さん お母さんはお仕事を、デッキチエ も仮において赤ちゃんを入れてお 、氣のおけないお客様な のやらな頭の一部分は窓田させい ものは、蒸し蒸しするのでお子さございますが、あまり原ぼつたい

のあり布か何かでお作りになると

け手をかけないキャンプ式の献立一か、又はお手型のドレスの残り切り すさびに如何です 愛らしいと云ふ歌子ですが、お手

◆……それこそ――『職で、木織

はあとの二方、つまり刷方から、 を通してリボンのやうに結べばい その一方の端を輪にした部分に布

情操と勤勞心涵養

ん方は流ひます、そんな時に、個しもので、布を順形に、頭部だけを ございますが、あまり原注つたい「夫といへませう」と云ひましたがそれでは平らになるにしても、殿子館では『殿野で』と知れたお作りなれば自分ない式』◆……なほほじめ浮き数のやうに 風油しをよくし、しかも衛生節で一き袋のやうに最初存を載む、頭部 - 暑い時節には、経令木盛に | れとか、又はお子さんの洋服と同 お嬢ちやんのために くし扱いて、恰良海水路の時の記 …作り方は消滅的に出来上るってしまひますから、あとのとこの方 の幅の折りかへしだけ長く裁でば

ら布を取りつけますが、その一方のところは、三等分して、三方か と云ひましたがそれでは平らにな は隠水に皮は水につけまず、中質

腓に正想をみぢん則 植物性油にていた

初に加于の底に金単様のものでで、ひ出す事がありますから、像め返 るる間に加子がふくれて中母が飛

方面の信用ある瞬節につき『レン

ドゲン』診断を初め精密なる呼吸

|ル」(肺結核の初期)に凝り場 るのではないかと思ばれます、何れとも治態の際座者でも残つて居は前の肋変炎の思慮したものかそ

器の診察を受けらる」が必要です

起節が歴史交通旅を配するのは更二年程期の誕作助競先の治療した

たらまづ詰めてパン粉のからつて て、面子が浮かぬ位にし、派立つ

のをその上に一面にぬりパン粉を を何れもおまじない位に入れたも 熱、肺等に散除がないでせうか す、時々咳が出て来ます熱は平 追を歩いても息切がして困りま かけ護弱致します、少し位の坂

一年程前右側退性的膜炎に掛り 四ヶ月間程は遊の結果、今日で は基所に崩接が立て居りますが 時々前の思郡に飢い痛みを感じ ます、前冬の内より巻より質に かけ変弱致します、少し位の致 はいかけないなります。 二年程前右側温性肋膜炎に掛め

ふいて中へ前のものをつめていよ ます、茄子の皮は水気をすつかり して少量の食鹽、味の素、砂糖等 リケン粉を天ぶらの衣位に水どき ため、食鹽、味の素にて味を贈へ 肋膜再發か

上病院

は、従前のとほりで漫野長成、石 部少鹽一氏,如尾帶刀吉崎五奉行

野長哉と中村一氏の雨人が、家康|田三茂、畑田長盛の長東正家、 の壁をふるはせて頭らいつたからと一座をハタと睨め難し、怒り る如く、鳴りをひそめてしまつた。 流石の消突も一時に静ひの登めた この時、独弦の世話をしてゐた後

手なり、奉行の方々は諸門を閉し せらるるものにて斯る上は某が相





暑い間にすゝめたい

お庭の簡易生活

キャンプの氣分が出せます

を作り、三度の御飯も此遠で蔵き





たてしれるなる が人許りであつたからでせる、対 き後を戦み申すは、徳川どのよ

てゐる生徒が多いと聞きますが、かる知れませんが若へ物ですよ、 の生徒は数学をいやがりますね、もそれは楽しい概ひ出です どうした調か、地方出一腰修業を十分やりましたよ、今で ● 野夜長 ―― 佐島監督と指写に 人物本位にしないと…… 金氏――豊富は上記出にはよい

能か遠記の新御座らうやっさりな らせ給ひて御子孫長久の甚を堅め がら人心は測り難し、よくよく

|野和のこと順み申すぞ大柄言

後秀松順まします上は、四海の内 の大低に堪ふべきや。殿下百弦の 言短才浅風の葉なれば、如何にこ と内外の處置を託し、億、

拠み申すぞ大納言 と、緑辺して、流石の英雄もハ 妄感、利家の南人も思はず謎を





Æ 伯 Œ

傾り、懇談の座に来て見ると、 「今、天下の議院を見渡すに四流

を無事に指する話、先づ内胎なら 罪を入れて、他の安都を計らせ終 では昭ふべからず、何卒、我が霊 高限度弱をたが、

家庭は、

遠に

間部して辿いた。茲において、 吉は、石田三成・増田長盛の二人

行、三中老を置くことになった。 に後事を託し、彼の五大老、五素

と前し五大老は、江戸内大臣協川

常時は、これを大年帝、若年帝

中納営毛利邸元、備町中納営で田





社會式排油醬田野。達用御省內宮

氏一國宅三 土柳學理 問題

宗城本町-7目 (郵便局前) 爾本②5017番·振舊泉城346番

名古屋米組反對 **血視の三事業** 議會の通過は疑問 藏口通過 貴衆兩院の反對傾向强 各國銀行と交渉 電力國營案の先行觀測 不材を原料に 無水酒精を製造 躍七割の増 本本玉 ないかと観響すると先いかと思いますると先 らる □明鮮和股東出門 ○日、韓雄 ○日、新退直航 ○日、新退直航 ○日、新退直航 ○日、新退直航 ○日、新退直航 一種 一面 超出日 海出日 一種 一面 五二百 一種 一面 五二百 一種 一面 一種 嶋谷汽船株式會社



ハスの駐車場に到り大久保行き

【東京電話】朝鮮總督職に政務認監幹性に伴ふ後世は厦田首相が四日子後難山御用記

ける官記傳達

東京電路」長き通りでは 職した宇宙相呼順

、五日左の如く國務

任朝鮮總督

前を組たので、五日左の如く正式総令を見ることに決定した。な任器中につき総件式は行は前を組たので、五日左の如く正式総令を見ることに決定した。な任器中につき総件式は行は

野

任朝鮮總督府政務總監

依願発本官(各巡)

特に国務大臣たるの削官機

左任中の功績と、新たに迎へる南總督への待望の撃を聽く一、この名總督を送るに際し半島の官界、財界、其他の諸名士に五ケ年、今や半島の山野に宇垣總督の功績は燦として輝いてる 在城有力者は語る

机治の實績擧り

宇垣總督は赴任以來 な功績を残す 頭取語る

南大將はよく朝鮮を理解 朴泳孝侯は語る

李允用男語る

面タクを呼びませらと言ふの

新任總督並に總監に

年、その間都に見る事職を残して一將来適當の機能に彰成すると云以来頭訴統領に全力を織し在断大一洲射動に端する行贄が行はれた殿

一副しては同民多年の功労に對し駒

子垣總督、今井田總監の

欧弥得監に内定した大野様一郎氏

優遇方法考慮

別別の事情に通じ軍部の支持もあ

機にあつて温暖の事情に精通して、一般上の配増上りするも得近まで現

質はねばならぬとの狭縁に基

の問題で左の如く取締法を音外地 たが、外地にも之を関ルしその月 个様文書品時取締法を測定指施し

政民兩黨への 於て好職を有してゐる。即も朝鮮

本精神發揚

東京電話】宇墳總督は今回陸京一南次郞大鰐が代るのであるが、劉一る黥より見て相當與得出來よら 影響は注目

し政府の滲見が一致するに至ち。の八月島脳を俟つて原染を軟行す。ものである。な往宇宙港群群なたのであるが、盆壁後任間郷に「たのでその後立消えとなり、陸軍」の結果電火的大將を押すに至っ

代稀に見る

監は最適任 大野氏の總

五年十二丁迄初館軍司令鼠として開次即大將は昭和四年八月から同 には極めて

4段

錢十六 町本橋本日東東 行設 館 文 墹 CPT工原県番撮

政務網監修住に内定の大野線一部

杯殖銀理事語る

氏と一高時代から同窓の強張理事

生 12 ・ 12 閣議で寺内陸相强調 **不穩文書取締法** 各外地にも施行 その日を送つてゐる▲東と節書 一芸香の一同屋外前脚をする へと共に毎日早 を銀ねる歌町 消息を断つこ ため人頭しい小 から七里岩峰 であらち を眺める哲人 泉して何だら の思なる獣の と、極端をいる ●全では典 遊師の父子 全くの孤獨

創作

即太心石光 二隆 見录· 即一果佐岩 产 进 南

大阪建計

宵. 露 噺. 臺

四語る 南次即大府と

同極の出旨で、同大將が朝鮮軍司 設る。 **延**京城三坂通 圓



(是語) 小栗虫太郎 一十世紀鏡

久生十二期

金

においては自職自武島ので政策の「財産問題で、新く行志りの振廊を り近内限の島田昭和も子垣氏に善ニ・11六事財祖後の去る協能謝額 内蔵の重要高策助駅に落大たる園 | 、 政だ館の毎田重恵等の続印を目されてゐる。 即ち或思規訴とも | しかも他方態或 | 新を決済する或 | る論に政政策の貧田幸労郎、廃棄

朝鮮のことは

く承知

村夫子然たる姿できのふ午後上京の

南大将は上機嫌で語る

民政民用配とも複雑な第四事例に一局に何等かの影響を見へずにはお

の國策設計問題には添く認識側の国形回復に選進し、最近閩田内部

一旦はしめる際、折き折とて多年域 「風鷺」の製着如何によつては城町」とし、早くも雁田内部の財産域を しとさへ際へられてゐるので、デ 辭められ

指摘と見るべきものあるが、一質が膨脹したことは、これらの歌『微妙は傷めて活目されてゐるも恵きを加へ、歌蜜の信用回一究の惑星とされてゐた宇宙朝鮮場「兩記』「野樹あるを隠れす。

外交國策に關 民政が近く發す

つて南温に不

高 市災 -===

曹阳

む、その熟証を思れてはなられ

E看ざるは、總督の本領を解せざ にいその形骸を塗らて、その粒調 とするにあつた。その精神、その赤

島民衆の特職に徹底し、半島の

質に単世不被の泉道精神を、

ると避る、半路統治の大

シリアの駐屯部隊

配して大量の努力を駆けてゐるか自分もオリムビックの諸教会に出

ではないのである、窓で一寸等へ

併しそれは無駄のやうで環は無駄一界の各極から若い人々が悪まつて

開館を有つばかりでなく、其等世

は一千広国の役用を関するー

あらず、政策のための政策にあら

っなかつた。政治のための政治に

の大精神の具態化の一形態に外た

田辺村接頭運動も、その見直一貫

位を去つて、後に何等の痕跡をと

たられ。震政家の記念碑は、朝

とくすれば温時世間回記成年度を

行的に行はるべきではあるまいか

指めらる

、者の爲め

都守會議における訓示

的の改善ではなく根本的収益であすると改善論者は「イヤ年中行事

を懸げんとしつゝある。

開闢の存するを忘れてになられ ジントンの明耀はその歌策の歌

古山悲省が半島の大地に選さ 一分したのでなく、その不成の

であつた。現しく脳有民衆に接觸としたものは、卓道一貫の大樹神 物等の美風を興さんとした際

も、その重要政策のすべては漸く

収しを挙げつしあるものある

要、産業性師ず、無数の項目を列総の担任展別では、中国の開拓、開催化学、駅山 社師の開拓、開催化学、駅山 社師を あってものは、地下登第の間 年 考へやうによれば誠に便少の支腕

は選年順制なる截近の道程

オリ

ムピツク招致の

意義とその價値

文部省體育課長

拓

京畿道知事安井誠 動態せられたいのであります。動態は省、協力者としての活動を対応深に力を致し以て男子のりますので各位は護密ある併に 阆

長産物の價格

其のものも徹底せれと言を事にな 夏延長と並行せざれば、内容図書 のそしりを受くる所以であるが 然であるから、此重配から見童 既的政済条を添かにせぬが、年 内容以背形脈論としての 新しい考へもたく赤に敬敬は人格 を主とするから思力よりも人物に 東きを置けと言ふも共節 節息校 即範大學案の外大語之

と共に推がし貼消離する。ハンガ電さんとすれば、その生命は民衆ににある。賞戴家若し生館を民衆に

の市士コッスートはアメリカ

夫は現在の非常時間既下に巨額の

從来は『主義としては實成、但し

反對論の二三二

豊敵の要迫は生命を大地に宿す

文部政務次官

Ц

本

争

宇垣總督辭任

社

說

一弥、園町の健康、殿法、園受棄共「智局者にして之れに反對の人はな」ならないのであるまして、経済のとして、国行よりして十二二級の別範として、国行せられ、死に陽田文相は郷心」れも内容臨藩と略としての延離的数据を完成する趣。 教堂をあったであらら、其他観代」に着かも遠かに選ぶとして、国行せられ、死に陽田文相は郷心」れも内容臨藩と降る局をのは年のいに罪らず、国民 右と暦同様ではあるまいか、師範「韓に毎度を養は見合け、異ないの。

なければならん
なく記録を受くるには相當期田が

兒童の負擔

治むる者の為でなく

であらう、然かも常見古心の数も 質局者も十分茲に留意して居るの がする、智行に個せず、徳背に重

きを近く事も石同様必要であり文

を遂げた時代であるから教育の内

数段素質の改善が先だと言ふ説も

さこう。早代二日と子、皇守三世 十年の間が我國の尤も文化院施設ると人事でなくいだいたしい第分 代もあつた様であるが)併し他数

れて軍部しげに理察し、衝略など一般は新程軽かった際に思ばれる 少女が、背景に一杯の時間等を入一三四十年前を願みると小学生の資

(英以前被科器のずつと高向た時

に頭をかたけて居るのを見たりす

襲に地方税制

地方行政事務

個言が如何に有利であるかの低 アルバート、プレール(BE)はニ ーオルリーンズの各新聞に食料

政にあらず治めら る者の爲めにする

綱紀の蕭正

鼠算は誇大宣傳

究研の術技新夏

アサヒカメラ臨時増刊

も買へるといふ寫與雜誌! オ人近くも揃へながら僅かべ ストフイルム一本の代で二 册 事を満載/超對に見のがせぬ記

35セン・送料4セン

" 眞寫の醜美の市都と大用軍"

切 ぬれ お屋子 雄功正

品

術水雄

と材料(★フォト・ノオト)
★ソ聯の寫眞通信……※※良吉 其他満載

全關西聯盟競技傑作集

題材を目然に求めて

☆海に遊ぶカメラ…前田「年秋 ★夏の撮影ニニ・野津」造☆海の銀座……矢野 巻二 ★キャムプ高 眞…非深 最 メラ俱楽部の特徴、中山岩野風作器の建設が納得出外

▽本誌舊號實物見本進呈 全寫眞界の一大驚異だ!! 文價八十歲 職 一册よく敷班に Δ

なぜか? 一册よく數册!本誌は亦々大増刷敢行!

良な八月に

行の最も不 あらゆる雑

して天候に選まれ日の經濟界

と許大民僚をした結果起訴され

増刊・賣切近シ

定限

三十二

肝し私は断らいふ画家的の事に開 ばならぬと思つてるが、假りに二 して利不利の論をするとは真正ね 各國新聞は日本著の其の狀況を大 ない、国内の総道敷設は日本の合 な結果にはなるまいと信ずる、 投じて外國人から埋め合せをし であるが、オリムピックは回数 于英国で鑑道を敷くのに勝る

及び書店にあり | 大阪中の朝日新聞販賣店 | 東京丸の

我水兵の宣 B 新

は、他们を軽した気色にもあります。 この記録は立派なドキュメントとしているではつ。プリボイの小段には北下なのより、アリボイの小段には北下ないとなった。 好 0 不審氏の面目は始めてとの地にある而も運命論者かと上下級がよく書かれてゐま上下級がよく書かれてゐまといる而も運命論者かと 1 Z, ф 0

耐

設行

大東疆

化する三三巴戦

海事出張所長の仲裁も水泡に歸した

川沿岸航路の奪ひ合ひ

大邱愛婦幹部會

質値助を無くて活州出に置下共同 その場所を傾色の結果、調用機技

で難續さの清州邑

不認の水揚高は四萬一千九百五十

「扁山」水産留此の一月から大月

四萬二千圓

第一部の石橋町別が出有地で邑内を融 間の石橋町別が記済でした。

殿省殿を龍成路に車締る一方非

二時から郡劉朝内京諸野で臨時に州」諸战組合では去る一日午

今度は借地人から

巨長訴へらる

第三日は事務打合

後の自合には業者も加へ異知

他干三百四十八段、合訛四干五百」なつてゐる

忠北署長會議

する職能の敬益助長(以上警務)する民心の啓殺▲兵郡々務に顕

「海州」思北道では三日から三日 | 同の後足で署長館域を開催本財害 大田の各法院支際機事、丸山大田事正、長崎忠州、電際諸州、青山 単項、韓単正脚ボ、指示車項ナビ知事、中事書業部長の脚示、指示 趣兵分脈長等も列脇、第一日は金

送頭網四百八十一級一本的り五百

|別六十七段、大松四十八路、その||上げは反つて一千三百囲の増加と 八十八段、延龍八百五十七後、打一なつてゐるが漁僧の高率のため廢

百六十変、手統綱航八百二十五 |七十五変で前年同期に比し入船が は四百数域、能つて漁運動も少く

釜山中央卸 賣上げ激増

持らず刑年同月に比して昨点四萬 四子面、生果二萬国の増詣である 上高は鮮魚十二成七千百五十一回 生薬六萬三千七十四。夏枯れにも 【釜山】中央御政市場七月中の政

> 島の重工業に駆をつけてゐるのを 地帯設定の計画を樹て、垣部が半

の海面約四十萬坪を埋立、頂丁

大な資金を関するので暗中飛躍八

模様であるが、この専業には超

無盡が擡頭 貯組掃滅で

既最の如く、器の質風質

成行きは頼る重視されるに至つたで、低気路方面の興味をひきその

行政講習所

難し、ことに吉田超長、金元磁、

● 機関的と復行原家首本に一線 する路路輸送の批選をはかると、の復義と前とも近回の部項行政 割市行政問題とあっては二川市が入れて経路に関する路域との登場、出現する路域の機関との機関として

日川 府戦の戦策に大きた足跡

でこれを結め、緊急重要なものを

級の復級と同時に輩化をなし

仁川の府勢振興會

八合の卒業生は各郷に囲営てられ 電質を損害して活躍することになった **京都、各部で、各学校ではしの官、ら館護町で役員館を明祖、今後の「上された」、同院組から会館堂で襲行、金垣等以下道」るまになつたが、三日校七曜学の「孫に貢献することに決し、同院組のから会館堂で襲行、金垣等以下できたの勢の前** 民有力音多数の列配表あり、七十一事業や活動につき協議を行った結

に遊範囲、かつ總得式であつたの「宇亜省した果、齲魎で申合せた新事業は解り」、アメーニー

るかは吉田會長に

一世、午後九時

値の高揚をはかり仁川

【篇出】 馬山塔登內內地遊館層館

評判がよい

繁榮を招く

四懸案の内容

四大農業等狭保運運動は明日の仁一所は開放的に動みら気域に終って出門一部項の通り指数透照館の一一般の好評を浴びてみるが、同

壁が断く表面化したものをみ

馬山の水道

(三山) 猛震蜒深に、水道使用量 用量は北百立方米で五、六月ご のそれに比べると百五十立方米 **荷州圖書館** と上昇、慰在一日平均 末だその出現を見なかつたところせれる。 無難業令によるにあらざれば許可

関(以上制出)▲林野の保護取、の値を請ることになった「銀路寮事務監督▲公留の巡回診」所を設け第分新開建誌に「行▲恭水寮運防注射の徹底▲層」「「「お」」「「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「 「清清」市街公園での凸立岡湖館 上中のため二十九日から三ヶ月間 公會堂で執務 の易賀山釜、 車拍に展發

・東京、平朝と同時に思想和監察・御事中に著組合は、歴史階級位に「大郎」来る十月一日から大郎に「讃談で完全にその存在を解消した 約五十名を指導 強々有望の状態にあるので、頭に 地を経げた電山の輸出工業に削途 「裏山」終史製外質器に非常な観い し敗場被敗の基礎工作に乗り出す一般事務に関する相談事業を明始 必要を助長指導するため四呼

思想犯監察所

る捐納機能がなく、質外関議の診っあり、並用に支所認証の行無は関「の設」性の匿るとなるわけで、公爵の協無、関議助長を目飾とす「つて登職館事物を過過するもので「だがこれにより同様の機神は、の理由としては現在の参山に外閣「職就と輸出関議のバイロットとな」支配の職機地を買收し目下記録の 中である、この質疑協領支所質取

に森像書館が関り込み忠南竜関称。の理由で忠南航路を復活した人め、による治成散路の統紀法がないこに森像書館が関り込み忠南竜関称。の理由で忠南航路を復活した人め、による治成散路の統紀法がないことに森像書館が

自指し聞らずよ幽難を欲した。 海洋地は七月二日征客風戦五十段 | とで最臨力のある戦略法の認定が、自指し聞らずよ幽難を欲した。 海洋地は七月二日征客風戦五十段 | とで最臨力のある戦略法の認定が、

一年度の新事業として

0

職員を配するものである、且下

富川郡下の海岸に

業地帯を設定

約四十萬坪埋立を企て

資本募集に奔走

要働者が収入期、原工業、収大が、減量するもの85、昨年夏大記憶で土工、城夫、人夫等の日報ぎ網 中には租営課歴をなし交は報里にを形成に果尽、続端、北九州方面 | 台一割はあり、これき出種得鮮人

四大懸案を促進し

政仲展に貢献

陣容を强化して邁進する

上川商議が

氏・「空の田中電磁圧を飲み資源、洋化に列展から分離署出版器とし、地元成は广川資能に江幽波線の開閉的反はすう海洋戦の船崎越次郎」し忠直統計に呼び時趋され現に毎、て不適の駆かあるらしく、江華の関連も菩屈してゐるか、この柳加「星度代を通じて海洋戦の船を配船」め厳密や路標機能にも地元度とし

くが業が配けられ加勝後単出談。路から 航院を消し、拉迪か られ、報謝表院将は発信の第古であるた時・1 市外船の三部が勇立した。り、七津・制着不但のため忠同能、中忠門能格に原理を招き、また非

近五大明智院に赤明十五名、段明に水た、三日祝在の際染病思常は

脚チワス六名、郷山船一名

でもので島原都のは、山林保護の

造は時間観光

【不明】陰態極まりないお天滅つ一かとみられてゐる

の改良

警戒を厳重とし村民の不安を除くコッルが横行するので仁川器ではコッルが横行するので仁川器では なほ今後も月配點の警戒を一時間 ため、代田司法主任中司法が事は 日月尾島一帶の査器をなし不振

持穴あり、韓物や樹木等の評評益は路域のもので表面中央に評

ころから推せば、右出土品も相當 署長官職別席

前九時から昼間勝望で開催、左の前九時から昼間勝望で開催、左の

金泉學組會議

「融合級人出決算認定▲議第二議第一號 昭和十年度金泉學

試置〕目では今年度から市内の

伸びる統營

六日河東で開

商業登記公告

| お押は左近く間形をは出張所 | カ州郵船をは出張所 | 電話に出張所

でもしくは頭の母力組(具動地氏と類別、協調を遂げた結(歌してをり、同社はこの監無無談 に決定した、無靈館地馬山文語で 参続印度計画をして 二十段日 職場化を利用に大々的に乗り出す 則を作用、使用感は「マルビシ」です。 いとカップを、その他一、二、三各等には制質を開起、なほ規則は朝鮮線宮殿いとカップを、その他一、二、三各等には制質を開起、なほ規則は朝鮮線を開発に置います。 健康チームになみに十五日までに京城日報、新 8ら警邏學校コートで南非個人庭城大會を脱すことになりました。 参加料は 金山湖に独日中語河東支局では支局が盟一関手記念自成の意味で水る八月十六日

段出語的となし無温素を含むこと

番馬山同社院上を借り受け、

は既にこれが側頭工作として疑に

たが、三十日、元皇司号自社等務一重馬山戦闘

間に、具體薬を協議しつゝるつ

の如く証数死衛馬山脈界有力者と

に要する費用は附五百萬國の象形間の防災既衝景の問題もありこれ るので港灣十萬年の地域と大七十 一後接河東體容

(所を誘致

営業者の要望を擔つて

商議が實現運動

「「別題の「東川道・樹田」「別の「大学」

清州の櫻座

正民著札・変る十四日嫁から着工一英二子七百回で清州松江聖太即

會

形に不便が多い壁が駆けられてあ。方面では成行きを注目してる。 考別料の人手限能と従って収拾用一覧的に影響するところおく計

質により組織された水腹壁反倒で 邪の支援を目的に昨年三月元節 元股役員館を聞き、元賢崇官で 常局に要望 たので三日午町十一時半から四事

月難くない記録 陰欝な天氣續きて

あった語の子母が蘇紫目を出則す

近く近極関長から響帯局長あて要

名といふ数字で去る二日の如きは「七百六十八箇、題に名、チフス十五名、チフラリアー」なるが質内の改良質

七百六十八箇、即に本年度は二五六十七百六十八箇、即に本年度は二五六十七百六十八日、即に本年度は二五六十

九百九十四箇を収良

がらみると敗しますることに決

と単年来の 配録を 被名のではない な子樹な天常がつまけば 赤門蔓延

珍らしい 古器物

聞元 | (『w) 虎炎面飛谷里二七一字 | 仁商甲字側行為 | 【六甲】関忠部山陽面佛岩里三八 | 漫才界の人気を

を各方面に破壊し間に密照すべ

完成の明名は去る七月末的時で事

経出地的は傳説に富んできり、

守曾識列底のた。 三日時任揆

→ 1 世界の では 1 世界 では 製造立名称北層種態製作植物 生物品・変数・28番に製作する 生物品・変数・28番に製造し 風料川温が田温水 用生態スル 風料川温が田温水 用生態スル 風料は一部が田温水 用生態スル 単二年 1月 六日主華 及 単二年 1月 六日主華 及 日本 1年 1月 六日主華 及 日本 1年 1月 六日主華 及 代理店 1997日で10年・七二番の第二十二番 三十二日

めぐ

り」」
カラマッ人工造林地の
カラマッ人工造林地の

置を返ければ程々しく版じ続い 事に起席するかの副金は下事別

時五十分に至る一時間の最大間は 一日午別十一時五十分から同十一 位能に現はれた今回の関位は三十 [羅津] 南路順政政の形の印

【留華】上三郎防護獣では本鉄北一成郡であつた

村を奮起させた

年若い婦人會長 未明に飛び起き鉢卷姿で

男勝りの大働き

上三峰防護團

は一層に対災管師を實施し取る好に陥する最高非常を行び既に同夜 整領側の指導をうけ一般的空間割

世三十一銭と決定、一日一般投資と を事度の像算は七千八百九十三個 本年度の像算は七千八百九十三個

一日一般投資と一面してその買收配例は曹、田、堡

経度の推測がつけば、数据はを

「事」上版中水災蛇路の金田を一には完了する路

流失した橋

概を見合せることとなった を観光が顕著の他のため番分数。 億へるため一日午後四時金融長以 を定の日単務所は今回の水鷸によ」 幹地方に質能される誤る大蔵語に

五日刊平均の野草を採取してるる 本銀による能が向上から低い四子

開城大成會像算

職は同所より何多血、砂塩血界三等道路との交叉點に至る▲三

が我も我もと新規職人的鍵を希望。外に便利などを知った他に都る民

度の整備地帯と開始機能域を結ぶ場 、整備では、日左の如く質数地質を 、一般では、日左の如く質数地質を 、一般では、日左の如く質数地質を 、一般でした、質数量がは、

上数日を出でずして百数十銭に建

意観で対応数は記さけるの日

を五品に分つ本一品は

ところ野草採取、監作物財品に夢

新部落、好上明紹川里に二十三

して好に緊急者では質内の堆配

【蔵異】型片勢動能率の向上を

日本鎌大もて

端豊鐵道

0

用地

地域を五區、五種別に分け

一買收單價を發表

工事が原因ならば救濟費は支給する

廣井羅津都計主任の意向

事の罪

災被害は果して

聞をもつて認む総可申請中であつ 借入も許可されたので、三十一日 - [記簿] 弱鮮人有害の客財第三萬 | 鐵可され、街覧通収技々舎の一誌

羅律の光成學校

時舊普校舎を借入れ

世氏の設立派遣鼓伝、金道権权長 光づ国政合いの後起立古代表奏果工學名列脇の下に開校式を観行、

に決定してゐる

調士九番地二千坪に新梁すること 事架に當つたもので、校舎は間仏 立部版資長として客府金三萬國の

別であったが、都諸南部と北部の

をとる方針とみらむつ。たでしば一個は地立地の狭型が失の外แ響、 一部を続見つてる。三木合合の版

したもの、砂糖粉は野荒世を削してある、なほ三木合欲では二日早 **类如田口邑長**

|移物総合を建し、移物期限を同一エンジン等一の数于国に上る環境

は右脚蛇に着手したが五、六月底一の。膨胀を急いである

解表を提出

建建電話】用一日の未付行の大 | 天災外に一部は工事に起因すると 水害の責任を痛感

既因をおけて事によるものとし

轉見合せ

邑事務所移

南日に亘り田口四長と舒起、水害。多くが町と昭和漁の田民は二、三

従事するに至ったと 窓加せしむること語だしく近来同 別割を上午機不明に同時は簡単の 担任し既に 一回の除罪を終る等そ り、逆に栗五段歩の跳作を顕身で 二十四万里三十四を採取しつくあ さ品等要語々しくチダを背に巡日 の無力を聴き郷光明行、活動節 働を膨脹指導してあるが日頭調 同動以来、信日未開に飛び起これがすと即の第一回野放採

研究部別を主流し、田口母兵よ 【編集】本月一日華素総合に多称 【一零】職員哲非論義所の登上出「財政が登場されてお旅川工と部題」の表現を前門ではよれてものとし、一直十十二人により、一声に開修了「土」整然

事の網路に原助するものとの意思、都売出で直角事別需要を提出した。 担級動と可選代献合館で、都統二、戦態時間の政治を観慮し午後五時 担級動と可選代献合館で、都統二、戦態時間の政治を観慮し午後五時

工事の缺陷による

新市街地の埋立計畫で 河床著しく低下し水流豊富となる 成興の夢、質現か

【成異】題くとも今秋九月には著一川の合語類から内閣会節は新市町一る、この埋了結論によれば場出江一 大規模の埋立。事を心理とする際、川江上流の水池形列水の原田と自他として総数されこれがためには、期護川の河豚に著しく彫められ城 趣用の部を持続して利用する外に、べく説は「城川江に船をよべる」 度つて非時期間の近次を見るに筆一

開城荒しの怪盗

雞泥が運の盡き

で平均域艦は前年に比し、一次の好 老頭海の慰霊祭

その土取場とすべく物色中であっ

泗浦の築港

明年度實現を期

三氏上城して陳情

で適當な関有が近の地下げを受け、はないかと期待されるに至った

であるが肝質量では城川江及び地

「既吉」老原識では同地は語音は一会へ使人し類四羽を訪ね、川大陸」も聞人は形内の官略、微此、學校 悪税制定のため

安に戦く昌民 不可解な當局の態度を非難

題でもその必要を認めて十一年世

世三道當局に緊密質地方を開悩し へ年に栗港加成領を組織して以来 際出現川道下加面西部地では昭和

| 選定額の九十人が六十六萬八千六 | 十二根、合計五十個領に重りその | 巻すべきであらうと言はれてゐる を受けるというによったでし、こうでは、この政策につて作るが列化で、低くか知されて国際の最もつっして低を軟部を生じ結局低止した。因子問題度のものであるが列化で、低くか知されて間に自己の不安を中には今を至う十億年前一度記載。 たほこの政策につて作る均収は三 目を触覚して他らに自己の不安を中には今を至う十億年前一度記載。 たまこの政策につて作る均収は三 目を触覚して他らに自己の不安を 當局より上記に承認方を申認中で「ても一ケ年の資土と軟人金派干面」一般に不平主義の置か非常に高いた占疑認英明については且下凸(他の業員に関する延鴻紫鏡線を見)に繰りあるものと認識され早くもたらに関連ので可決となっ」ののみならず、態温吸引表・共一のる近隣最高をかけた結果は近像 あるが、これによると發薬部とし な」では、「ない」というでは、「ない」というでは、「ない」といって取るに全部を實施することになり観点就とでも、「からといって取るに全部を實施することになり観点就とでも、「からといって取るに全部を實施す ても一ケ年の数上と戦人金派十四一一般に不平主義の憲法に記録して、三百順総理まで「元も邑 営員 では規則 を認定したできる。 沙里院邑政の暗影

び頭右関、素単一の三氏が一日上

組合量割収総総は五月末に於いて

百七十四国を飲収し終り未清額は

音の修築が施工されることを聞い

水組費徵收

地域では旧年度は是非とも目

成を期して期成實長川口潔技

断を申請したが別除された、 算にこれが登用を耐上、本府に

成南の小作弁義

盛宿省以の

理した、前年に比ずれば六十五

になずれば六十五 小作事議申立代数は百六十五段こ

造物画長、田村少姓かる別した。

一脳四十五銭の器で補助される 将五十五旦その他への帰出には

惠山鑢に製

及り三十一日日際語さんは科の増加であり同日までの終局代表 先生の講習

では、10世紀の19世紀の19世紀日本代

紙工場?

は思山に豊新・皇新説の批量があっ他の資意調査のためであるが範 るのではないかとは目されてると 近江下七名は一日来高、パルプモ (學出疆) 北洋建設被政府長者

で開始の現在栽培は従来さつ 期待される「聖山職

トして本地支局主語で関係大台 擬はなかつたが昨年期治の 州き、同谷省川東城で興へた智

がく今年の観察器には超越優秀品の出版を明存されてゐる 寄生態なに観光してある同好物が一年は内地各方面から高級品を取

見別語問題を聞いてゐる一問題は 寂しいラデオ體操

輸出鹽魚組

台に補助

型しては一日間関から一千三百 「両難」強罪輸出際魚水壺地行い 徒を除げば大人は僅か十一二名 の参加者は初手學校五、大年のよ 「毎山鶴」去旦一十一日からこと

中一期、下八十銭金林野は立木 1二十二級に適すを除きる風とも呼「銭金銭組加」この外機定土地の削増があり建し、風八銭、四級十五銭、五組・土銭、竹様のに随しては各組甲之の関係型は出土の等と同い金塚、17年間に随しては各組甲之のは金銭、1銭とし造水及び、10分をそれく、実術に関し部が地は各組一銭とし造水及び、10分をそれく実術に関し部が地に基土銭とし造水及び、10分をもれく実術に関し部が地に基土銭とは一般にあるる 店晒しの憂き目

「無山道」関係名物の一つである「台間主題の下に去る二十七日午後 疫病流行で賣れず 相場も約二分の一 一時から野山忠温仰山で照然所兵一

部事態養婦型の緊急祭を近け、米、国前職の機器の施設を占備とする。さを非縁されてある。 一般から帰血忠遠輝則で原佐将矢。 王子園の出苑(棚里指やがあつた) 各路部機能も出版せ 第二人道橋の架設

前途悲観に無用

声要土木案引提げて上城の

阿部平南土木課長の歸任談

東京 関係は発覚の第二人直出架 【半月 阿部甲 関ル士木 郡民は北 れその質問を許さに説明し則年 市孤地工工

て来るのは九月頃となるだら。 金いに費してゐた曲都と軸つたて来た、本版では三分の一位に 一大韓紀六章代でゐる魔に見えた、都山寺 「本道大百十直に上る銀行を自己 「本成」と 「本道大百十直に上る銀行を自己 「本版」と 「本版」と

兵ひに関してるた曲者と言った はいる人の成は四元はしい! が明八月十四日とる地行を自己

全鮮個人庭球

京城事党優勝

が帰避動を行って一日間似した 惠山の水道

吸設認可さる

本格書記の意向としては六百萬 出版上記を入り続き 自の 対しない 大き にいた (地域上述を) 人物 可申 電 にの が 地域 (地域上述を) 人物 可申 電 にいた のでもない、要が (日本 に対し の変質を認可された、近域に思印とたものでもない、要が (日本 近域の (を) (日本 に関 (日本 に) ((第山間) 軽報、母の上水道県設 は、「治は、」高麗寺年資土催の全鮮樹」、「治は、」高麗寺年資土催の全鮮樹」、大慈城県政大會は、「日午巻一時の、「黄原阿道から梵蓮りの選手を抽締即、「大生後に開城組と清城地方都曾は、「大生後に開城組と清城地方都曾は、「大生後に開城組と清城地方都曾は、「大生後に開城組とが、「大生後に開城組を開び、「大生後に開城組を開び、「大生後に開城組を開び、「大生後に開城組を開び、「大生後に開城組を開び、「大生後に関する。」

全咸與野球 新陣容完成

近世四台、三届手永井の賜暇 手川内の人者、一量手田原の動 「「「」」 投手腹背の退職題題、

認業事だ明方の垣根を崇起とて刻一選加されたが取割べの結果が外に降知問題都資が面値右里一八一三一れて同日開城製書が面配在外近に

○九平所復(T)は去る一日午後四|金|国九十鶴で費却したことがば

問題が音が用徳岩里・八一時が内部後日里韓国英徳として

百件近い犯行自日

の新陣容を完成し猛練費を開始日間、離开

榮轉組の送別會

中醫十本人(班子原達及於用)
中醫十本人(班子原達及於用) 短野三本人(在時間及び盆川品)

ウラルゴールの種類と價格

日本にで治療日数が長引くと、患者は治療を怠り、不露生を誑し、また時候の變り目がに対すると同時に、なる治の如く考へるに誑るのは實に建設である。 はに語奏は、神疾患者に對しては過数にて決奏し、時には、いかなはしき無品を使用して治療を襲り、悪には淋疾は、不能に語奏は、神疾患者に対しては過程である。 水分短期間に金治せしむる治療法を施すべきである。 水分短期間に金治せしむる治療法を施すべきである。

+

醫は勿論、專門外にまで着々として使用せられ名學益々高し。めて平易且つ安全なり。さればその獨特の効力と併せ、專門ウラルゴールの使用法は頗る簡單にて、未經驗者と雖も極 赤寳驗各位は即時、之を使用して快心の結果を得られよ。

する人にエビオス錠が好適です

これは强力ヴィタミンB複合體

ミタイヴカ强

大日本家酒品供表面出现。 錢十六圓一 錠○○三 錢十八圓四 錠○○○ りある末粉 五章元章 注 三 椕 衞 ø 式量 會 ΝÄ

> JĖ, Ti

口豫選を通過 矢澤は惜くも失格

一百米第一豫選

しなる選手は帰接機の踏動に置つく、力法、

動戦フォールで取れ失格と

レスリング

校は個よ白熱化し十二萬を收得する大スタデア人はけずる水超過段、わが別人 披露で走巾路、女子回盤、二百米、五千米決勝等の好職目に釣られて大學領

一种 [6谷口腔生(日本)

1コム(畑)利定スカーフ

-ルアブリブル(土)四分四十一・ルアブリブル(瑞四)フォ

モンス (米) 判定 パード

ルド (報西) 単一分

り出した、地元ベルリン市民は素より、世界各國人より成る 服果群は殆ど大質の呼び物能上面技にひきつ

(加)一十一砂(3グリンペット)砂(イオリム・ピツクへ)サー砂(オリム・ピツクへ

上の南選手が得温のスプリングにものをいはせて輝く登場

二百第二豫選 谷口遂に失格

鈴木葉權の理由

□砂!! 2 ホワイト (比) 五十!!! 砂四3 ヤンディカペ (布) 砂四3 ヤンディカペ (布) 砂円 3 トリング(加)五目砂ー カスマロリング(加)五目砂ー

ーヴアンヴエレン(和)一・緑に田場の投が均富省一選手は 增富選手失格

等人

賞 3モレンハウエル(類)三十九米



(後)四十八米三

ス(米)8ブルプス(濁)5ロギヤト 女子百米得點

· 情水、村上、古田)

けふの種目

幅跳の經過

を以て第二日を終了したが、その

近代五種第二日

ルリンオリム ピツクスタデ 戸上も通過

型果ドイツのラントリック中間で 影響大・五點をもつてリードした

尿畿道三郡

黄蛾の害著し

第二代 三七米公四第二代 三七米公四第二代 三七米公四

七月末から黄蛾と称する俗に銀珍一は主性以下各形単の残職を続めて

他投からこのほど

3 田島 道人(日本)

リムピック 新記録

スは驚異世界記録

オリムビック並に世一変観を妨げられる程なので、日下ステフ(エンス(米)十一秒五一〇一次観を妨げられる程なので、日下ステフ(エンス) ステァヘエンス (米) 十一 女子百米決勝 ひ、人騒にふれると開展指揮して一位一封を引法係へ関られた 河有歌虫が戯曲し夜間は『火を懸

オリム ピックタイ記

鎌で出したアメリカのオーエンス

手の最高記録は同じ七米七四であ

オリムビック並に世

日を短縮

世寅騎氏宅で現金一馬四千面とそ は六大都市に第らぬ野火思想の物 **炒い、がこれは明らかに新力を削** 比べて三三件、三三三、一九五四

撮りを示す路である、次に

|和『富士』は十五時間といる強強「競ど開発域の、更く地長工事に答

二千萬圓、四年後に完成

東京は五輪一色

募集 | 認可

国記念として、四日海道興防費

四川野大連順仏の試合は四日午後 [京光治] 都川型抗野球大級

極度に緊張させた颱風は、四日午 探報部に全神証を集め、観測所を

風は黄海道船県浦南近に上陸した

中部以南は

安心です

、颱風

今日の天気

販賣店

特製

倡



イケダ小見内科病院 イケダ小見内科病院

京城の火事は

文化に逆比例

回敷も損害も砂

間に合い

肾局縣新庄中學校

徒募

集 第一學和對子名一時 湖 鄉

軍受付給切別日八月十五日 感要制(保敵者身元制査場) 評略本該政

豊富 安價で

道内科 電本二三二三

金力

京城德力

特別等以

側面面

電

※ 京日案内

##**基**屬和醫問 北柳病專門

京城地方法院

圖社 古城憲治

本籍では「大学人」とは
本籍では、「大学人」とは
本籍では、「大学人」とは
「大学人」と
、「大学人」と
、「大学人」
、「大学人
、「大学人」
、「大学人
、「大学人」
、「大学人
、「大学人」
、「大学人
、

ら、もう大分海崎くなつた日の上 中の時間には充分間に合ふだらう 行つて下さあい 題りから回タタを走らせれば代 自動権の則定歩いて行つて、 繋がきこえて來た。 しなの呼止 芝居の最前をいふやうに一言々々

たしかその壁は少し慄へてゐたや 後を向かずに、沿むく云つた。心

五日の番組

(水曜日)

即「造成」関(五) 神保田伊勢町 同七時一分(東)朝の修器

羅彦契柄

| 医験オリムビック大會政法 | 年前大時三〇分(伯林)第十一回 六日のき、初

「どうしてとすの?」 愛子も同じ

間を置いて甘へるやうないひ方を 1年へ行く間一郎の姿を迎ふやう やうに丈の高い草が茂つてゐるの 可能の下に取がありますから

に選手も聞いてゐた。

子で過まみ上げながら、愛子が走

変子は間一部の間にくるつと廻つ しと、云つたと思ふと

上く解つてある密ちゃありません

同七時一分(第)朝の修造

ス・氢泉通歌・豊日の番組 一門九時三〇分(東)時報 ニー 指揮 内田

京城)

 4 白連紅連々
 第30世紀14

 4 自連紅連々
 第30世紀14

 4 自連紅連々
 第30世紀15

 6 月間
 所は

 6 月間
 所は

 7 日本大阪タキオオーケストラ
 同六時(名)コドモ日本史(八)

 6 日本大阪タキオオーケストラ
 同六時(五大分(東) 趣味護監 史・

 6 日本大阪シキオオーケストラ
 同六時(名)コドモ日本史(八)

 7 出版
 2 出版り(五)

 6 本
 2 出版り(五)

 6 本
 2 出版り(五)

 7 日本・
 2 出版り(五)

 8 日本・
 2 出版り(五)

 9 日本・
 2 出版り(五)

 1 日本・
 2 出版り(五)

 2 日本・
 2 出版り(五)

 3 日本・
 2 出版り(五)

 4 日本・
 2 出版り(五)</

18.1 〇時 ニュース(照解語・窓山)

二放送

飼乳機 (羊

螺行つばめ太夫外 | ら本イほう~~ 雪の飛行提ポイ早(美源屋の段)

ら急いで來い、飛行機ホイ、山か

產

來た

委 優 良 用

な

3

國

產

品

世

富

なり

何 季

N で

外 议

品

擊形勢遊轉一堂全頭痛

を壓して

•

凱歌を奏す

初夜の節をつし

ふ必要はありません。異女の方が

れてゐる。歐一郎は歐情の中心をの覷が白い花のやうに目の前で搖 に觸れた。見まいとしても、愛子 美つてしまった人間のやうに、 白い練絹の洋服地が周一郎の指 「京城は第二放送」野球戦合設況

些な風に仰つしやられる理由もな いじやありませんかしると、思 もの、貴方にそんなに腹を立てゝ やらた思いで其處へ帰立ちになつ 一好きになれないものは仕方がな でもなは誰の罪でもないわ。です 同 子谷零時五分(東)普曲噺響 い 供と他の戦のお雅古(一)の時三〇分(東)家庭護歴明治尊宮外苑野球掛より中綴

まれてしまつてゐた。いふだけの 四辺はもうすつかり船の色に包

「貴女はもう踊つて下さい

のた要子を混乱した派持ちで見話

5 一度と逢ふまいと心に決めて 間の中を縫つてゐた。

|関一郎は坂の踊り口で立止まると一てると、一寺の方へ後をも見ずに歩 | 同六陸五五分(惠) カレント

た個、そんなことが年気でいはれ の要すを、不思議な領特で眺めて

「私、失極しますわよ」といい語

二流争弱血製情 Œ, (4) 夫夫

▼ | 四歩頁(6分)
▼ | 100 (4分)
▼ | 100 (4分) 塚田君の一二飛と作戦を嫌つた はのちくのためであるが、敵に成

打たれ更に成歩を工作されてはると哭いて桂を保護しても二三歩と

持時間各九時間 消費時間

戰

双龍子

原上挿話、 | 「乗のところ」 | 「乗回々、 | 三乗のところ」 | 乗回々、 | 三乗のところ」 | 乗のところ」 | 乗回々、 | 三乗のところ」 | 乗回々、 | 三乗のところ」 | 乗回々、 | 三乗のところ」 | 乗回々、 | 三乗のところ」 | 乗回を | 乗のを | 乗回を | 乗のを | 乗

趙光

(A)

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

整無断上遭受益

しつと見詰めてゐた。直ぐ後ろの

歌のお稽古 午町十時半

子供と女の

|山から急いで来い飛行機 本イ山

ね蚊が氷で身をせめる 一に、かぶと虫に、黄金虫、とんぼ、 へまねく管は手元へよらず、すか はね虫のとかげ、へつびり虫の蝮

置の飛行機山からホイ、早く山か 前へお集まり下さい、最初の日の 一部の飛行機 野片両情作詞

の時間にはありましたが、今度は これまでの「うたのお稿古」は

と御一緒にお歌古をして下さい、てきまりが思かつたら、子供さん 人でお歌ひになるのは、可笑しくしながら練習し、お母さまもお一 わからない所はお母さまにお聞き にお確古をしませら、子供さんに お母さまと子供さんとが、ご一緒 たいほととぎす 都女

端限へこのまがくれのほととぎ

が質価つきで、面白くわかりやす くお話し下さいます、節さんも鉛 八月中の水曜と金曜の二回、午前 へ至に一聲思はせぶりな へ八千八壁を一壁なりと早く唱き

やないか、そつとさぐりにくる症 へいゝ聲で鳴いて居るはみゝづじ

聲いろ 音曲噺 Fagwering

又購名の呼び方もそれんくちがふ ろ選ふ、市場、夜店のバナナ島、 商ふものによつて受り撃もいろい 三遊亭或崎一

酸日などみな壁の出し方がちがら めてきかせる二般日 れらの實際を一々使ひわけて関一へ今年は丙子茲の導、大鳥天のつ

吉五郎ねずのばん、岩児銀山遊ず すおとし、ねずみ小僧に木ねずみ 照寺、八郎忠義の守護城背八丈街 み取、先代表ではどぶねずみ、あ わずみさん、伊達の床下、霊姫金 既が白わずみ、所作
おや島羽緯ま

へあたたの姿が目にテンチロリ年一へ節へ置、でんくく虫、蝶に、た かひ始、子の日の遊や、利に利が んぽのいなごのいも虫のげじくく

べし頭の供益に参らんで仇人に迷ばへて一人も入れ険な其分心智候へ 一様、全日は吉日にて候郷に爺の使 す宮人のへ島附子をしばしかりに ある「御削に候へ交さる行脈ある」 世で侯を此程召與し鐘を録させて 當時に仔細ありて久しく撞鎖岩鴨 へ思は紀州道政寺の僧にて侯挺も 間供養の塩に女人禁鼬にてあるぞ 伽藍油の道成果行の 花の外には松ばかりへ暮そめて鐘 けりシテへ花の外には松ばかりへ

へないたなか的とあらそふ日を止 標のひき合せ目から置が出たよ 中節

電流へめぐりくて大山の石倉 つわ虫がエー てきてへ駆逐の闘の

第2天にみらし日ほどなく血等の 第2天にみらし日ほどなく血等の

誰なれば何國に大蛇のあるべきや三千大千世界の恒砂の龍王良郎自 といのりいのられかつばとまうじ

め交のへ続し

夜の鐘をつくときは是生態法と野く時は諸行無常とひょくなりへ後 くたりへ最初のひょきは生態機能

く時は端行無常とひると

祝養の由軍り検室に はれやらの月

と仰出され展問題 ば淵ませたくは美へども女人類が給はり候へへこようざし残闘なれ 日高の芸にぞ着にけるへ是は此国 る小松鼠へ春の日永とまだくれぬ まじへイヤ供養の根 の傍に住む白柏子にて候今日鐘の

ひとさし词類候へつアアラうれし ・ ・ く候問いらに類ませ候型に で やさらば難はんとてあれにましま にて禁申すべ 節後めしやとて龍頭に手をかけ飛 で堅く女人禁制のよし申して**険に** とぞ見へしがひきかづきてぞ失に へ近村の過火へ窓に對して人々職 がまだ出るがつて鍵に向ってつい ひょりてつかんとせしが思ばへ此

たりやへ順画の 部なればとて 脚承り始めて 世代的王宮方に軍茶利夜叉明王へ がわこそすはく動くぞ、融りい 文明王、中央に大日大皇不顧明王 圧司が息女の執念似をなすとを監 曲事にてあるぞ是は個にまなこの へらごくか助かぬか今の蛇身を配 西方に大威德樹王、北方に金剛夜 の然にこそ終へずつて此類性び難 えたる去ながら我らが行功も所標



3 る 必 要 垄 あ ŧ なす ŋ ф 常

The state of the s

會興振蓬 或 - ローー町谷ヶ司雑川石小京皇

ハKラヂオアンサンプ!

| 別川 | (四) 奥州自石噺宮 | 同六時 | 五分 (仙) 趣味能遜 同六時10分(東)コドキ

三局

関け「三佳心の局面 ▼延高氏

金易二郎

角

步 角玉

評